

2025年10月27日(月)(第6回)

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

保育園番号	66-1035
園名	さんいく保育園有明

1. 活動のテーマ

<テーマ>

2025年10月27日(月)に行う。明日2025年10月28日(火)の遠足に向けて、晴天を願い、てるてるぼうず作りを行う。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
晴れたら芋ほり遠足に行けて楽しいよね。芋ほりセブンにあえるねという思いを子ども達に伝えて、そのためにてるてるぼうず作りに誘う。

2. 活動スケジュール

芋ほりセブンの絵本を子ども達に見てもらう。
「明日の遠足に向けててるてるぼうずを作ると晴れるそうだよ」と話し、てるてるぼうず作りに誘う。
「晴れると芋ほりができるよ」と子供たちに伝える。
「雨だと博物館に行くことになるよ」と子どもたちに伝える。
てるてるぼうずをひつじ・ろば・はと組全員で作り、出来上がったら天井に吊るす。

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、教諭との関わり等）

準備した素材や道具：お花紙（白）、ビニール袋（白、青）、色違いのモール、細・大の数種類のマジックペン、新聞紙、輪ゴム 芋ほりセブンの絵本

遠足に行く幼児クラス（ひつじ組・ろば組・はと組）全員でてるてるぼうずを作る。

子ども達の描く顔（笑顔だね・目が大きいね、嬉しそうだね、好きな色なんだね等）を子ども達が作成に集中する過程の中で子ども達の達成感を称え合い、見守る。



4. 振り返り

2025年10月27日（月）（第6回）

<振り返りによって得た先生の気づき>

子ども達がてるてるぼうずの顔を描き、首周りに好きな色のモールを選んで巻き、てるてるぼうずを作って楽しむ。晴れますようにという願いを込めて保育室内に吊るす。

異年齢の合同保育の中で製作活動を楽しんでいた。

また、子ども達の好きな絵本に出てくる芋ほりセブンに会いたいという話をして明日の芋ほり遠足への期待感を持ち、製作活動に取り組んでいた。